

大学等入学時奨学金貸与申請書

※ 奨学金申込種別 ・ 1～3のいずれか1つに○をする。 ・ 併願を希望する場合は☑印をつける。 ・ 返還支援候補者募集への応募の有無について☑印をつける。		1 明治維新150周年記念特別枠（併願希望 <input type="checkbox"/> 地方創生枠 <input type="checkbox"/> 一般枠） 2 地方創生枠（併願希望 <input type="checkbox"/> 一般枠） 3 一般枠		* 別に募集する「大学等奨学金返還支援候補者」への応募（ <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無）				
※ 全・定・通		学 校 コード	学 科 科 名					
卒業年月	平成 年 月 ※（卒業・卒業見込）	本人携帯電話		ー ー				
氏 名	フリガナ	※ 性別 1 男 2 女	生 年 月 日	元号	年 月 日			
				平成				
保 護 者 住 所	〒	(フリガナ)						
	住 所 (アパート名) (マンション) 部 屋 番 号	携帯電話		ー ー				
		固定電話		ー ー				
進 学 希 望 校	第 一 希 望		第 二 希 望					
	※ 国公立・私立		※ 国公立・私立					
	学部（群） 科（類） ※ 昼・夜		学部（群） 科（類） ※ 昼・夜					
大学等入学から卒業までの正規の修学期間		平成30年4月から平成 年 3月まで（ 年間）						
同一生計の家族状況（別居者の番号を○で囲み，専修学校在学中の者については高等・専門課程の別を明記。）								
別居者に○	本人との続柄	氏 名	年 齢	所得の種類	在 学 学 校		※ 生徒・学生の通学状況	現在受けている又は予約している奨学金の団体名
					※ 設置別	学 校 名		
1	父				ー	ー	ー	ー
2	母				ー	ー	ー	ー
3	本人				国・公・私			能・能外
4					国・公・私			能・能外
5					国・公・私			能・能外
6					国・公・私			能・能外
7					国・公・私			能・能外
8					国・公・私			能・能外
9					国・公・私			能・能外
10					国・公・私			能・能外

注① ※印の欄は，該当するものを○で囲むこと。

注② 「住所コード」欄は，別添「住所コード一覧」を参照し記入すること。

注③ 「学校名」欄は，“□□高等学校，△△専修学校（専門課程）”など正確に記入すること。

家族の生活状況及び奨学金を必要とする理由	
<p>-----</p> <p>-----</p>	
特別控除の申告欄	障害のある人のいる世帯 (1級～3級) 障害等級【 種 級】(障害者手帳等の写しを添付) 知的障害【 】(療育手帳等の写しを添付)
	長期療養者のいる世帯 病名【 】〔・医師等の診断証明書(原本)〕 療養期間【 】〔・長期療養による年間支出額(別紙様式5)〕 療養場所【 】及び領収書の写しを添付 療養に要する年間支出額【 万円】 【病状】
	主たる家計支持者が別居している世帯(単身赴任等) 別居の理由〔 〕〔・単身赴任等による年間支出額(別紙様式6)及び領収書の写しを添付〕 単身赴任等に要する年間支出額【 万円】
	震災、風水害火災その他の災害又は盗難等の被害を受けた世帯 被害の種類【 〕〔・り災証明書の写し〕 被害発生時期【 〕〔・被害額を証明する書類を添付〕 被害内容【 〕
特記事項	※ 申請時において家計支持者が無職無収入の場合は、その理由及び期間等をここに記入した上で、「離職証明書」又は「無職無収入証明書」等を添付すること。
貴財団の奨学生として採用の上、奨学金を貸与して下さるよう申請します。 平成 年 月 日 本人氏名 (本人自署) ⑩ 保護者住所 (保護者自署) 氏名 ⑩ 公益財団法人鹿児島県育英財団理事長 殿	

注④ 「障害のある人のいる世帯」における特別控除は、障害等級1級～3級の該当者が対象。

注⑤ 次の場合は、採用候補が取消しとなるので注意すること。

- ・ 放送大学、大学及び短期大学の通信教育学部、職業能力開発訓練校等文部科学省管轄外の学校、海外の大学等に進学した場合
- ・ 採用候補となった奨学金の対象校種以外に入学した場合(例:「大学・短期大学」の地方創生枠又は一般枠の採用候補者となった者が、「専修学校(2年以上の専門課程)」へ入学した場合等)